

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 日本教育公社

②事業者情報

名称：	共愛学園（成人部）	種別：	施設入所支援・生活介護
代表者氏名：	廣瀬政雄	定員(利用人数)：	50 名
所在地：	〒 348-8530 埼玉県羽生市砂山210番地	TEL	048-561-2362

③評価実施期間

令和 7 年 7 月 31 日（契約日）～令和 8 年 2 月 11 日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

利用者の個別性を重視することや、高齢化等への対応力強化を重要課題として、提供するサービスの質的向上と職員の資質向上を図った。「クレド準備委員会」を設置して「共愛会Credo」の策定を組織的に行った。「共愛会Credo」の策定にあたり職員アンケートを実施し、職員も「共愛会Credo」の策定に参画する形で、「共愛会Credo」の行動基準を明確にした。現在は、「共愛会Credo」等の策定が完了したことを受けて、これらに対する職員の理解を深めることにシフトしている（「クレド準備委員会」は、「クレド運営委員会」となっている）。自己評価の「特に評価の高い点」においても、「ミッションやビジョン、クレドを導入したことで基本方針が可視化し、目指す方向性がわかりやすくなった」「クレドを確立し、職員の質の向上、モチベーションの向上を図っており、働きやすくなった」「サービスの質の確保について、クレドを意識して取り組むことができている」「基本理念が周知されており、また、会議等で職員同士確認ができていると思う。利用者様へも理念に基づき、積極的に支援を行っている」等、「共愛会Credo」等の策定と実践を評価する意見が多い。

◇特にコメントを要する点

事業計画（①「共愛会Credo」を活用した職員育成（支援力の向上を含む）を図る、②ICTとアナログを併用する形で組織力の向上（縦横の関係強化）を図る）を、「リーダー会議」や、「運営会議」、「職員会議」等において周知する取り組みを行っているが、自己評価における「事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。」については、「a」が34.1%にとどまっている（「b」は52.3%、「c」は13.6%）。このため、事業計画を職員に周知する更なる取り組みや、職員が事業計画を理解する更なる取り組み等に期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審したことで、運営体制について、客観的かつ多角的な視点から評価をいただく貴重な機会となりました。特に、職員育成の面においては、各種研修や会議を実施しているものの、内容が十分に浸透しきれていない点があることを改めて認識しました。日頃の取り組みの中で出来ている部分と、改善が必要な部分を明確に区別できたことは、具体的に見直すべき課題や改善の方向性が示され大きな成果であると考えています。第三者の視点により、今後の対応がより実践的かつ計画的に進められると感じています。評価結果を踏まえ、職員への周知方法や研修の進め方、日常業務への反映の在り方を再検討し、改善に取り組んでまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり